

「公共建築の日」2023 フォトコンテスト

受賞作品集

——人が集^{っど}う建物——

「公共建築の日」及び「公共建築月間」北海道地方実行委員会
一般社団法人公共建築協会 北海道地区事務局

<https://www.pbaweb.jp/association/branch/hokkaido/photocon/>

「公共建築の日」2023 フォトコンテスト 審査結果報告

本年のフォトコンテストは、2023（令和5）年7月1日に応募要項を発表し、応募部門を「デジタルカメラ部門」、「携帯・スマホ部門」の2部門で、2022（令和4）年10月以降に撮影した作品を対象に、「人が集う建物」をテーマとして2023（令和5）年7月1日から同年10月1日まで応募を受け付けました。

その結果、2部門とも昨年の応募総数を若干下回る応募になりましたが、多数の応募を頂いたことにお礼申し上げます。

「デジタルカメラ部門」 61点（2022〔令和4〕年：73点）

「携帯・スマホ部門」 44点（2022〔令和4〕年：60点）

2023（令和5）年10月25日に開催された審査委員会において、厳正なる審査の結果、次の作品が選考されました。「携帯・スマホ部門」では、奨励賞4点を3点にする結果になりました。来年のフォトコンテストに引き続き多数の応募を賜ることを実行委員会一同祈念しております。

「公共建築の日」及び「公共建築月間」北海道地方実行委員会
（事務局：一般社団法人公共建築協会北海道地区事務局）

● 受賞作品一覧

【デジタルカメラ部門】			
賞	題名	対象公共建築	受賞者
グランプリ	冬のシンフォニー	札幌市資料館（旧札幌控訴院庁舎）	只石 秀樹（札幌市）
準グランプリ	朝日が差し込む農場	札幌農学校第2農場	新村 本広（札幌市）
準グランプリ	移り行く時代	北海道百年記念塔、北海道博物館	山内 佳子（札幌市）
佳作	輝く空中回廊	新さっぽろアクティブリンク（屋内空中歩廊）	松崎 真也（札幌市）
佳作	黄金色に輝くコタン	伝統的コタン（ウポポイ）	佐竹 輝昭（札幌市）
佳作	桜色に包まれて	豊平館（中島公園）	佐々木 郁太郎（札幌市）
佳作	明るい声が聞こえる広場	北海道知事公館	金山 陽子（札幌市）
【携帯・スマホ部門】			
賞	題名	対象公共建築	受賞者
特選	僕も登ってみたいな	サイロ展望台（百合が原公園）	高橋 碧（札幌市）
入選	湖に浮かぶ博物館	国立アイヌ民族博物館（ウポポイ）	中村 佳弘（札幌市）
入選	自由	札幌文化芸術劇場 hitaru（さっぽろ創世スクエア）	長谷川 瑞紀（札幌市）
入選	過去・現在・未来	北海道議会議事堂	金 昭賢（札幌市）
奨励賞	インスタ映えスポット	ガラスのピラミッド（モエレ沼公園）	小野 高秀（札幌市）
奨励賞	ノーマスクの笑顔	箱館奉行所	須賀 聡子（函館市）
奨励賞	ちょっと外に出てごらんよ	公立はこだて未来大学	角 康之（函館市）

●「公共建築の日」2023 フォトコンテスト審査委員会

(敬称略)

委員長	佐藤 雅英	(公社)日本写真家協会会員 NPO 法人北海道を発信する写真家ネットワーク顧問
委員	神谷 剛	国土交通省北海道開発局営繕部長
	平井 亮	国土交通省北海道開発局営繕部営繕計画課長
	鈴木 伸広	北海道建設部建築局建築整備課長
	東山 葉一	札幌市都市局建築部建築保全課長

● 審査風景



「公共建築の日」2023 フォトコンテスト総評

審査委員長 ● 佐藤 雅英



「公共建築の日」フォトコンテストは、2003（平成15）年に第1回を開催して以来、「建築と人間のかかわり」を主題に各年で関連するテーマを設定し、実施してきた。建築は人に利用され、愛されることによりその価値が高まっていくとの認識にたっているものである。昨年までは新型コロナの感染拡大の影響もあり、「建築と自然」を主題としてきたが、今回は本来の募集テーマに戻し公共建築を題材に風景や、そこに集う人たちの様子などの魅力ある写真を期待し、募集テーマを「人が集う建物」とした。

外出自粛要請の影響もあって、本年の応募数は昨年より多少減少する結果となった。しかしながら、審査を終えてみると非常に内容の充実した、良い作品が多かったと思う。昨年は今現在しか撮れないまさしく事象を捉えたタイムリーな作品が多く見受けられたが、今年は北海道の開拓期・明治・大正時代のノスタルジーを感じさせ、時代を超えて行き続ける「建築」として表現された写真作品に素晴らしいものがあつた。こういうものは時代とともに、北海道を象徴する建築としてたくさん残ってほしいものである。応募いただいた皆様に心より感謝申し上げたい。

今回の応募作品のどれもが力作で、それぞれの表現に特徴があり、優劣つけがたい作品ばかりであった。審査委員会の各委員も真摯に審査し、選考作業を行った。その結果、今回の受賞作品は、その中にあっても「光」の濃淡、画面構成の巧みさ、時間の瞬きのとらえ方や、人の営みを感じられる作品、「公共建築」への視点にぶれがないものなどが選考されることになった。詳細については講評をお読みいただきたい。

新型コロナウイルスが過去のものとなったわけではないが、徐々に人々が街に戻り、賑わいを取り戻し始めてもいる。来年の「公共建築の日」2024 フォトコンテストでは、多くの人が集う作品と若い世代からの応募が寄せられることを期待している。

最後に、安心して暮らせる日常とともに建築や街中に人々の明るい笑い声がこだまする日が続くことを切に念じて総評を書き終えることにしたい。

来年が皆さんにとってより良い1年であることを祈念します。

Profile

1946年稚内市生まれ、札幌在住。（公社）日本写真家協会会員、NPO 法人北海道を発信する写真家ネットワーク顧問。国内外の芸術家、文化人、匠の肖像、都市の歴史、建築、文化などを撮り続け、東京コダックフォトサロン、韓国、日本大使館広報文化院、中国魯迅美術館などで数多くの写真展を開催。特に2001年同時多発テロ前後を捉えた『NEW YORK NEW YORK Peace and Love』は話題となる。2000年、現代日本の写真（ARTBOX international）日本を代表する写真家110名に選抜される。2014年、パリ日本年日本選抜作家展（フランス・パリ「モナリザギャラリー」）、2015年、「目で楽しむ音楽展」（札幌芸術の森美術館）、2016年、500m美術館 Vol.18「記憶と記録の札幌」（地下歩道空間）。

デジタルカメラ
部門
グランプリ

冬のシンフォニー

只石 秀樹（札幌市）

札幌市資料館（旧札幌控訴院庁舎）



雪の表現が素晴らしい。非常にメルヘンチックな作品だ。ストロボをたいてシャッターを切った瞬間の、雪を止めた感じが非常に良い。2階の窓の色や全体をブルーにまとめた色彩もメルヘンチックを強調している。素晴らしい作品である。

携帯・スマホ
部門

特選

僕も登ってみたいな

高橋 碧（札幌市）

サイロ展望台（百合が原公園）



牧場から公園に生まれ変わる時、この場所が酪農地帯であった軌跡を保存するため改修した展望台の表情とそれを見上げる幼い子供とのバランスが絶妙。「僕も登ってみたいな」と言いそうな思いが伝わってくる。優れた作品である。

デジタルカメラ
部門
準グランプリ

朝日が差し込む農場

新村 本広（札幌市）

札幌農学校第2農場



札幌農学校時代に建てられた明治の農場施設。樹木の間から見える、風雪に耐えてきた歴史建造物に日が差し込む。歴史の重さが伝わってくる作品。木造である外壁の質感がもう少し感じられると良かった。

デジタルカメラ
部門
準グランプリ

移り行く時代

山内 佳子（札幌市）

北海道百年記念塔、北海道博物館



今年から見られなくなった百年記念塔最後の作品。水面に映っている感じがとても綺麗である。塔の後ろにクレーンが見えこれから解体が始まる瞬間と樹木の紅葉が、時の移ろいを感じさせる。今となっては貴重な写真である。

デジタルカメラ
部門
佳作

輝く空中回廊

松崎 真也（札幌市）

新さっぽろアクティブリンク（屋内空中歩廊）



一周出来る空中回路を下から撮って撮った非常にダイナミックな作品。札幌の新名所の可能性もありえる。実際より明るく撮れた感があるのともう少し引いて撮った方がよりよくなったと思われる。

デジタルカメラ
部門
佳作

黄金色に輝くコタン

佐竹 輝昭（札幌市）

伝統的コタン（ウボポイ）



湖に映える黄金色のコタンの美しさを表現した作品。ただあと30分か40分程早めに撮った方がコタンの表情がはっきり出て、全体の雰囲気も変化すると感じられた。

デジタルカメラ
部門
佳作

桜色に包まれて

佐々木 郁太郎（札幌市）

豊平館（中島公園）



桜色のピンクと薄いブルーの建物とのバランスが良く、絵葉書のような美しい綺麗な作品。桜の枝を利用して、背景の建物を隠すなど構図も素晴らしい作品である。

デジタルカメラ
部門
佳作

明るい声が聞こえる広場

金山 陽子（札幌市）

北海道知事公館



知事公館の庭にある安田侃さんの彫刻と、庭で戯れる幼稚園児とのバランスが良い。人が入ることによって暖かさが感じられる。なんかこう見ているとホッとさせるような感じが良い。

携帯・スマホ
部門

入選

湖に浮かぶ博物館

中村 佳弘（札幌市）

国立アイヌ民族博物館（ウポポイ）



ポロト湖よりアイヌ民族博物館を望む。曇天の柔らかい光の中、伝統的な高床式の倉のような外観の博物館の全体をしっかりと据え、効果的な構図となっている。右にある建物も入っているとさらに良かったと思う。

携帯・スマホ
部門

入選

自由

長谷川 瑞紀（札幌市）

札幌文化芸術劇場 hitaru（さっぽろ創世スクエア）



アートが建築と一体となって展示されている吹き抜け空間。俯瞰して写したカメラアングルが非常に良い。建物と人の配置もバランスが取れ程よい賑わいを感じる。

携帯・スマホ
部門
入選

過去・現在・未来

金 昭賢（札幌市）

北海道議会議事堂



なかなか見る機会が少ない北海道議会で開催された議場コンサート。松前神楽を中央に全体のバランスも良く、人の配置、天井のデザインも効果的で非常に落ち着いた作品になっている。

携帯・スマホ
部門
奨励賞

インスタ映えスポット

小野 高秀（札幌市）

ガラスのピラミッド（モエレ沼公園）



透明なガラスから漏れる光と影の効果を人間のシルエットで表現されている。二人の人物の配置が非常に効果的である。

携帯・スマホ
部門

奨励賞

ノーマスクの笑顔

須賀 聡子（函館市）

箱館奉行所



タイトルが良い。コロナのためマスク着用義務から解放された喜びを撮っている。手前の子供だけがマスクを外し元気に走り回っている姿が良い。天気良すぎると建物のコントラストが強くなりすぎるので、柔らかい光のため成功している。

携帯・スマホ
部門

奨励賞

ちょっと外に出てごらんよ

角 康之（函館市）

公立はこだて未来大学



夕方、薄暮れ時の微妙な空の色と夕日のオレンジ色が非常に美しい。この時間常しか絶対撮れない色で、空とのコントラストが良い綺麗な写真。建築のガラスの雰囲気も効果的。

11月11日は 公共建築の日

公共建築が、国民生活に一層密着したより良いものとなることを目指しています。
建築の基本的な構造を象徴する4本の柱のイメージと国会議事堂の完成（昭和11年11月）などから、11月11日が「公共建築の日」となりました。
そして11月は「公共建築月間」です。
シンポジウムをはじめさまざまな行事を実施いたします。
<https://www.pbaweb.jp>

庁舎、県庁舎、市庁舎、町・村役場、警察署、消防署、保健所、税務署、公共職業安定所（ハローワーク）、研究所、会議場など



図書館、美術館、博物館、資料館、記念館、市民ホール、音楽ホール、公園、動物園、植物園、水族館など



幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校、大学、病院、体育館、武道館、老人ホーム、公民館、青年の家、保養所、駅、自転車駐輪場など

主催：「公共建築の日」及び「公共建築月間」実行委員会

〔（一社）公共建築協会 （一財）建築保全センター （一財）建築コスト管理システム研究所 （一社）文教施設協会〕

後援：国土交通省 文部科学省 法務省 全国知事会 全国市長会 全国町村会

（予定）（一社）日本建築学会 （公社）日本建築家協会 （公社）日本建築士会連合会 （一社）日本建築士事務所協会連合会

（一社）日本建設業連合会 （一社）全国建設業協会 （一社）日本電設工業協会

（一社）日本空調衛生工事業協会 （公社）空気調和・衛生工学会 （一社）電気設備学会

（一社）日本設備設計事務所協会連合会 （一社）建築設備技術者協会 （一社）建設電気技術協会

日本経済新聞社 日刊建設工業新聞社 日刊建設通信新聞社 日刊木材新聞社

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ウッド・チェンジ

木づかいが 森をよくする 暮らしを変える

ウッド・チェンジとは、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造化・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。

「公共建築の日」……公共建築が国民生活に一層密着したより良いものとなることを目指し、建築の基本的な構造を象徴する4本の「柱」のイメージや国会議事堂の完成（昭和11年11月）などから、11月11日を「公共建築の日」、そして11月を「公共建築月間」とし、さまざまなイベントを実施しています。「公共建築の日」や「公共建築月間」についてはウェブサイト（https://www.pbaweb.jp/pb_date/events/）をご覧ください。

「公共建築の日」2023 フォトコンテスト

受賞作品集

<https://www.pbaweb.jp/association/branch/hokkaido/photocon/>



本作品集に掲載された写真、文章等を、
一般社団法人公共建築協会ならびに著作権者の承諾なしに
無断で複写またはスキャニング、データベースへの入力、
インターネットでの掲載等することを禁じます。

© 2023 一般社団法人公共建築協会